

第1回西播磨地域夢会議



安心安全社会分科会 テーマ ~「いのちはぐくむ思いやりの心」~

日時:平成 17年 11月 13日(日) 14:00~16:00

場所:先端科学技術支援センター

地域の県民とビジョン委員23名が11月13日(日)14時~16時に先端科学技術支援センターで西播磨「地域夢会議」を開催した。

総合司会の吉本さやかさん(ビジョン委員 安富町)の開会宣言で始まり、ビジョン委員会副委員長の熊谷 哲さんの、「皆さんから家族・地域の和のご意見を沢山頂き「夢」の実現に四分科会に繋げて行こう」とあいさつが行われた。

安心安全社会分科会代表の内海俊司(ビジョン委員 たつの市)から、安心安全社会分科会に係わる「西播磨地域ビジョン」と、「県民行動プログラム」のこれまで(5年間)の取組みの評価と次期(5年間)の県民行動プログラムの策定についての趣旨説明が行われた。

今期の「福祉マップ作成推進チーム」の活動を、チームリーダーの音崎勝弘さん(ビジョン委員 相生市)から、また、「防災・防犯・交通安全推進チーム」の活動を、チームリーダーの竹原勝美さん(ビジョン委員 たつの市)から提案が行われた。

その後、人権・食の安全などを含めて、テーマ1「健康・医療・福祉など」12人と、テーマ2「防災・防犯・交通安全など」11人にて、グループ討議・意見交換が行われた。

テーマ1：健康・医療・福祉など

- ・ トイレマップを再編集する場合には障害者、社会福祉協議会等使う人の意見を聞く必要がある。
- ・ トイレに管理者等の連絡先・電話番号を表示する必要がある。
- ・ 障害者が外に出られたらと言うことでトイレマップが出来たので、今度は高齢者の時代になってきているので、老人施設のマップ作成の提案。

テーマ2：防災・防犯・交通安全など

- ・ 斑鳩小学校の通学路のグリーンゾーンは興味深い。
- ・ 赤穂市では、新入生が集団登校をし、「こども110番」の駆け込み所を見学に行っている。万が一の時には、事前に挨拶をしているので駆け込みしやすい。
- ・ モデル地区をつくり、他の地域に発信して行けばよい。
- ・ ハザードマップのない市町がある。全ての市町が作成するよう県から各市町へ指導して欲しい。
- ・ 子供達にとって危険な場所を調査する必要がある。

討議内容の発表でテーマ1の音崎さんから「トイレの調査項目」など、テーマ2の名村真由美さん(たつの市)から「焦らずにモデルによる発信を!」など討議内容の発表が行われた。

その後、谷川和昭さん(専門委員)から、地域夢会議安心安全社会分科会は、地域でふつうにくらせるしくみづくりを!!と総括コメントが行われ、西播磨県民局副局長の杉本明文さんの参画と協働によるユニバーサルデザインが定着してきているとの挨拶で閉会した。

